

技術政策と環境政策の総合的な推進

農業・農村の再生には、新技術や環境に関する社会的要請を起点として農林水産分野の潜在力を発揮させていく必要。

このため、農山漁村に新しい価値をもたらす革新的な技術等の研究開発～普及・産業化等を図る技術政策と、再生可能なバイオマス等の資源を豊富に供給することによる新たな地球温暖化対策の展開等を図る環境政策の総合的な推進を図ることにより、持続的な社会づくりをリードしていくことが課題。

農林水産業・農山漁村には豊富な未利用バイオマスや太陽光などの自然エネルギー等国民生活に新たな恩恵を与える資源が多く存在

➡ 先端技術を活用し、農林水産業・農山漁村の潜在力を発揮させ、新たな産業を創造



現 状

素材部門	9.4兆円
医薬品部門	6.4兆円
燃料・プラスチック部門	21.6兆円
電力・ガス部門	27兆円

10～20年後

6兆円規模の新産業を創出

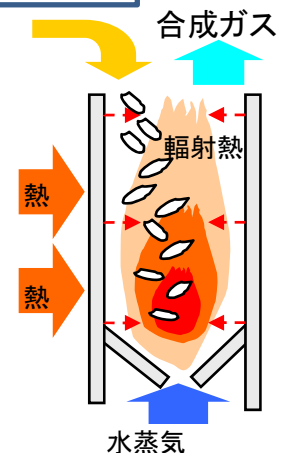
- ナノカーボン等の新素材
- サプリメント等の機能性食品
- バイオ燃料・バイオプラスチック
- バイオガス発電、太陽光・小水力

研究開発と産業化の間の「死の谷」を克服する技術・人材・資金の活用

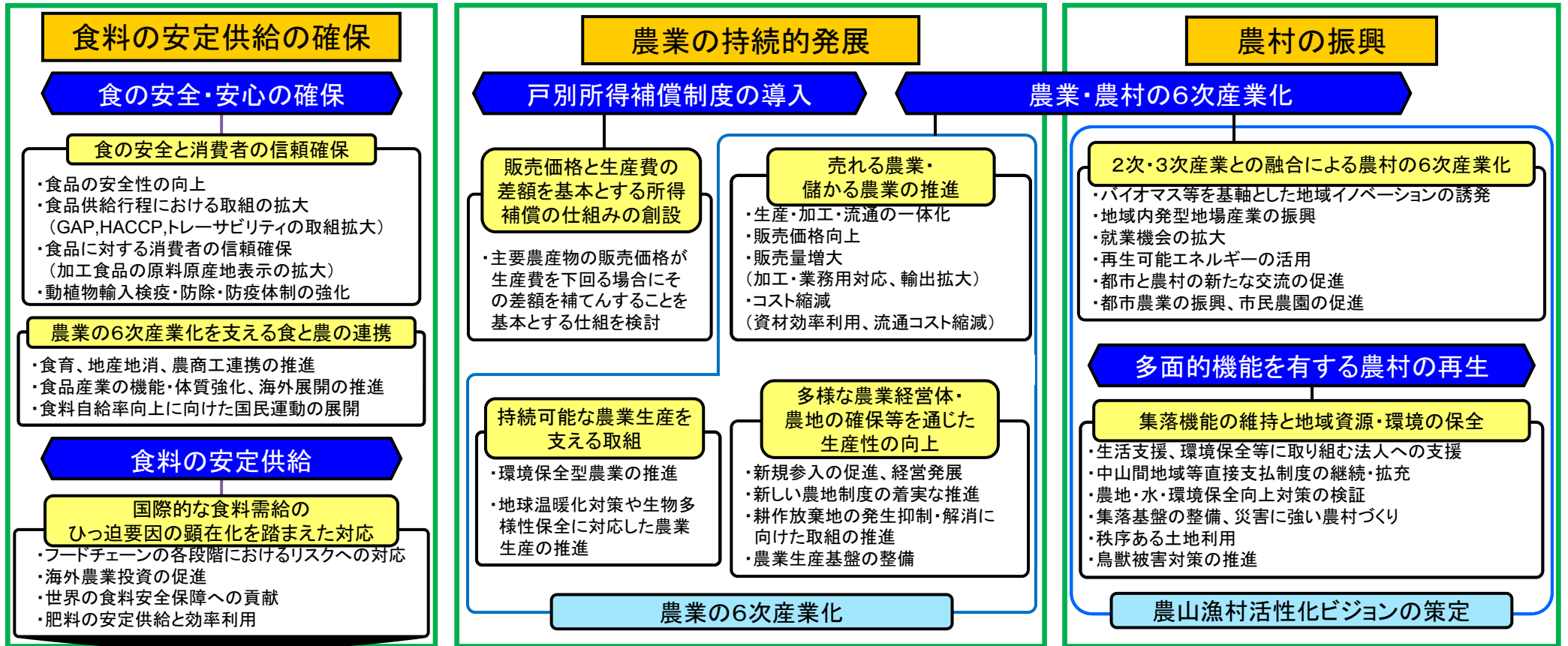
技術例:「農林バイオマス3号機」



反応管を外部から加熱し、バイオマスと水蒸気を化学反応させる独自の技術により、**高いエネルギー変換効率(15～30%)を実現**



「政策課題の整理」の概要（10月21日 食料・農業・農村政策審議会企画部会で議論されたもの）



食料自給率目標の設定

・具体的目標の設定
戸別所得補償制度など各種施策の見直しの中で、具体的な目標水準の設定

・指標性を高める補完的指標の整備
国民理解の醸成
生産額ベース食料自給率の積極的活用
農業生産力に関する指標の検討

食料自給率の向上

技術の革新的な向上と地球環境問題等への貢献

- 変革を実現するための「技術・環境総合戦略(仮称)」の策定
- 技術革新による産業構造の変革
- 研究開発から普及・産業化までの一貫した支援
- イノベーションの推進、新たな産学官連携の枠組みの構築
- 地球環境問題等への積極的貢献 (バイオマス等の供給、農業分野の排出削減の加速化)

「農」を中心とする多様な連携軸の構築と絆の強化

- 「農」を中心とする多様な連携軸の構築
 - 人材の育成・確保
 - 連携に取り組む関係者への支援
- 連携の絆を確かなものとするための活動支援
 - 食と農の現状や魅力を発信する活動への支援
 - 農と関わりを求める若者等新たなパワーの周知と支援

施策の総合的・計画的な推進に必要な総論的事項

- 基本的かつ長期的な目標や原則等の明確化
- 施策の重点化・統合化と実施手続き簡素化の推進
- 国民的議論の喚起とその成果の施策検討への反映
- 施策の企画・立案過程における透明性の確保
- 施策のPR徹底と現場浸透のための情報提供ツールの強化